

事業所名

児童発達支援教室CUBE

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・できることを1つ1つ形にし積み上げて、子ども達の成長に繋がるように目指す。 ・1人1人が学びや経験を通して成長し安心して社会参加ができるように目視する。 						
支援方針		保護者・児童、それぞれのニーズに沿って利用してくださる子どもたちにとって最善の利益になるように日々活動を行っています。						
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	規則的な生活リズム獲得に向けた支援や、スケジュールリングのための方法や手立てが獲得できるような支援を提供。気持ちや精神面の整え方の方法や手立てを伝えることで、生活場面での不安感解消を実践できるような支援を提供。						
	運動・感覚	教材を用いた手先を使った微細運動（つまむ、入れる、まとめるなど）、ストレッチなどの粗大運動を提供。創作活動などではハサミや糊など、道具の使い方の練習や体験の機会を提供。						
	認知・行動	スケジュールや絵カードを用いた活動内容の認知力や見通しを持つための支援を提供。児童の理解力に合わせ、就学に向けた取り組み（ひらがな、数概念、書字など）、認知力や概念理解が向上できるような支援を提供。						
	言語コミュニケーション	語彙の獲得や種類を増やすために学習教材や絵カードなどを用いることで、その子その子にあったコミュニケーションの取り方が獲得できるような支援を提供。場面における言葉の選択や関わり方が難しいケースでは、指導員が代弁や言い換え、関わり方のお手本・ロールプレイなどを行い、コミュニケーション能力が向上できるような支援を提供。						
	人間関係社会性	ルール・約束事などの概念獲得や必要に応じて集団での関わり方を体験・経験するための支援を提供。事業所内だけでなく、外活動の場面における立ち居振る舞いなどの支援も提供。						
家族支援		必要に応じて保護者様の相談・援助を実施。			移行支援		必要に応じて進学時の困りごとについて相談援助や情報共有を行う。	
地域支援・地域連携		子ども部会などの集会に参加し、相談室や児童発達支援センター、自治体とも連携を取っている。必要に応じて個別の児童について他事業所とも連携・相談を行っている。			職員の質の向上		月に1回程度、事業所内にて支援技法などの研修を開催。外部研修参加時には、未参加の職員に対して資料などを通じて情報共有している。	
主な行事等		季節に応じた簡単なイベントや、外出活動（お買い物、施設見学）などを実施。						